

新設・塗替え兼用水性エポキシ樹脂プライマーサーフェーサー

リフレッシュ プライマーⅡ

リフレッシュプライマーⅡは、窯業系サイディングボード面、吹付タイル、厚付けスタッコ、マスチック塗材面等の塗替え時や新設コンクリート面へ適応可能な水性エポキシプライマーサーフェーサーです。旧塗膜や上塗材との優れた付着性と、サーフェーサー効果を合わせ持ち、平滑に仕上げたい、既存パターンを活かしたいという要望にお応えするマルチプライマーです。



特 長

① 難付着対応

特殊エポキシ樹脂を使用しており、各種素地、各種旧塗膜との付着性に優れ、幅広く使用できます。窯業系サイディングボードの塗替えでは、親水性や無機系などコーティングが施された難付着サイディングボードへの適用が可能です。

② 環境対応

水性塗料のため取扱いやすく安全に使用でき、下塗り～上塗りまで環境にやさしいオール水系システムが可能です。

③ 意匠性

既存の意匠を活かした塗替えが可能で、吹付タイル・厚付けスタッコ・マスチックなど既存パターンを維持できます。

④ 仕上がり性

抜群のサーフェーサー効果でヘアラックを充てんし、美しい平滑仕上げができます。

⑤ 機能性

上塗り塗料には溶剤系～水系まで幅広く選択可能で、各種上塗り塗料の機能を発揮できます。



用途・適用下地

戸建住宅、集合住宅、商業施設、公共施設等の外壁塗替え用下塗り塗料

無機系素材	コンクリート・モルタル	○	サイディングボード	一般塗装板	○	旧塗膜適正	水系・溶剤系塗膜面	○
	ケイ酸カルシウム	○ ^{※1}		親水コーティング板	○		吹付タイル・厚付スタッコ面	○ ^{※4}
	ALC	○ ^{※2}		光触媒コーティング板	× ^{※3}		アクリルリシン面	○ ^{※4}
	押出成形セメント板	○		無機系コーティング板	○		複層弾性・単層弾性面	× ^{※5}

※1 吸込みが著しい素地の場合は、目止めとして下塗りに「シントー水性Mシーラー」、「浸透性マイルドエポシーラー」または「浸透性エポキシシーラー」をご使用ください。

※2 ALC面、コンクリートブロック面など多孔質下地の場合、素地に巣穴や段差がある場合は、ポリマーセメント系下地調整材などで下地調整をしてください。

※3 10年以上経過している光触媒コーティング板に塗装可能です。新設およびコーティング表面が健全な場合は適用できません。

※4 弾性系塗面への適正はありません。 ※5 複層弾性面への適用はご相談ください。

標準塗装仕様

1. 窯業系サイディングボード面 塗替え仕様

工程	塗料名（希釈剤）	希釈率（%）	標準使用量（kg/㎡回）	塗回数	塗装間隔（20℃）	塗装方法
下地調整	・サイディングボードのひび割れなど適切な処理を行う。 ・既存塗膜の脆弱部を完全に除去する。 ・高圧水洗にて、汚れ、チョーキング層の除去を行い、よく乾燥させる。					
下塗り	リフレッシュプライマーⅡ（水道水）	0～5	0.10～0.12	1	16時間～7日	ローラーはけ
上塗り	グランツマイスターSI（水道水）	10～20	0.10～0.13	2	3時間～7日	ローラーはけ

2. 吹付タイル面 塗替え仕様

工程	塗料名（希釈剤）	希釈率（%）	標準使用量（kg/㎡回）	塗回数	塗装間隔（20℃）	塗装方法
下地調整	・既存塗膜の脆弱部を完全に除去し、必要に応じてポリマーセメントモルタル等による補修または既存塗膜のパターンを修復を実施する。 ・高圧水洗にて、汚れ、チョーキング層の除去を行い、よく乾燥させる。					
下塗り	リフレッシュプライマーⅡ（水道水）	無希釈	0.15～0.25	1	16時間～7日	ローラーはけ
上塗り	水性ハイトントップ（水道水）	5～15	0.12～0.15	2	2時間～7日	ローラーはけ

3. 新設コンクリート面、押出成形セメント板面 塗替え仕様

工程	塗料名（希釈剤）	希釈率（%）	標準使用量（kg/㎡回）	塗回数	塗装間隔（20℃）	塗装方法
下地調整	・既存塗膜の脆弱部を完全に除去し、清掃する。 ・高圧水洗にて、汚れ、チョーキング層の除去を行い、よく乾燥させる。					
下塗り	リフレッシュプライマーⅡ（水道水）	0～5	0.10～0.20	1	16時間～7日	ローラーはけ
中塗り	アクアフロンティア中塗（水道水）	5～10	0.12～0.15	1	3時間～7日	ローラーはけ
上塗り	アクアフロンティアHG-II（水道水）	5～10	0.12～0.15	1	—	ローラーはけ

荷 姿

商品名		荷 姿		混合比
リフレッシュプライマーⅡ	基剤	10kg/ 石油缶	15kg セット	2：1
	硬化剤	5kg/ 丸缶		

使用可能時間

10℃	10 時間
20℃	8 時間
30℃	6 時間
35℃	5 時間

※容器の中で、塗料中の顔料が底に沈殿していることがあります。ご使用の際には、底部より均一になるように電動攪拌機等を用いて十分攪拌してください。

※基剤・硬化剤は所定の割合で混合し、電動攪拌機等を用いて十分にかき混ぜてください。

※小分けして使用する際には、必ずはかりを用いて計量し正しい比率で混合してください。

※仕様表中に書かれている数値は標準的なものであり、被塗面の状態、施工条件、気象条件などにより幅を生じる場合があります。

※冬期低温時（10℃以下）は、48時間以上乾燥後に上塗り塗装してください。乾燥が不十分な場合、上塗り塗料のひび割れの原因となります。

※使用可能時間が過ぎた塗料は使用しないでください。

適用上塗り塗料

【水系上塗り】	【弱溶剤系上塗り】
● アクアフロンティアHG-II（中塗り：アクアフロンティア中塗） ● 水性ハイトンセラ（中塗り：水性ハイトンセラ中塗） ● 水性ハイトントップ ● グランツマイスター SI ● シントー水性グランツ SI ● シントー水性グランツUP ● シントー水性グランツGP	● マイルドフロンティアHG（中塗り：マイルドフロンティア中塗） ● シントーハヤブサシリコン ● シントーハヤブサウレタン

各上塗り塗料の機能性については、個別のカタログを参照ください。

使用上の注意事項

●施工上の注意事項

- 気温および被塗面温度が5℃以下のときは塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延など不具合が生じやすくなります。やむを得ず低温時に塗装するときは対策が必要です。
- 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって、乾燥遅延や塗膜性能を発揮できないことがあります。
- 雨掛かりでの塗装において、降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 結露が予測される場合は塗装を避けてください。または絶えず結露が発生するような場所への塗装は避けてください。
- 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- コンクリート、モルタル面への塗装は、素地状態が表面含水率は10%以下（ケット科学研究所製CH-2）または5%以下（ケット科学研究所製Hi500シリーズ）で、素地状態がpH10以下を確認してから塗装してください。
- 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- 著しい吸込み面に塗装の場合は、下塗にシーラーを塗装してください。また、旧塗膜が脆弱な場合にもシーラーが必要とする場合があります。予めご相談ください。
- ALC面、コンクリートブロック面など多孔質下地の場合や、素地に巣穴や段差がある場合は、セメント系下地調整剤（樹脂入り）などで処理してください。
- 旧塗膜が高弾性（壁面防水材）の場合は適用できません。また、吹付タイル面において改修済で、旧塗膜に微弾性塗材がある場合も塗装は避けてください。リフレッシュプライマーⅡの膜厚では下地に十分追従することが難しく、塗膜がひび割れる可能性があります。

●取り扱いに関わる注意事項

- 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
- 塗装中および塗料の取り扱いには換気を十分に行ってください。
- エポキシ樹脂系塗料などは、体質により皮膚接触による感作性を

引き起こすことがあります。

- 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具（帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など）を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
- 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用してください。
- 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
- 基剤・硬化剤は所定の割合で混合し、電動攪拌機等を用いて十分にかき混ぜてください。
- 小分けして使用する場合は、予め塗料缶の内容物を均一になるよう攪拌してから小分けを行い、必ずはかりを用いて計量し、正しい比率で混合してください。
- さげ缶に小分けするときは、十分にかき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使用してください。
- 混合した塗料は、使用可能時間内に使用してください。使用可能時間を過ぎた塗料を使用すると塗膜性能低下の可能性あります。
- 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 使用した塗装器具は、直ちに水洗いしてください。
- 現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない風通しのよい場所で保管してください。また、未開缶の塗料は直射日光を避け、屋内倉庫に貯蔵してください。

●塗装に関する注意事項

- 希釈率、塗装間隔、使用可能時間などは、規定の数値を厳守してください。
- 冬期の低温時や高湿度時には、乾燥が速くなりますのでご注意ください。
- 厚塗りは避けてください。乾燥不良や塗膜ひび割れなどを生じます。
- 開缶後や作業中断時など、塗料が入った容器を放置していると、分離や沈殿が生じている場合があります。作業再開の際には再度

十分にかき混ぜてから使用してください。

- 塗装時および乾燥中は十分に換気を行ってください。
- エポキシ樹脂塗料の特性として、塗装後の塗膜が紫外線により黄変することがありますが、付着力等の塗膜物性には影響ありません。
- シーリング材の上への塗装は、塗膜の割れ、汚れ、はがれなどの不具合を起こすことがあるため避けてください。やむを得ず塗装するときは、シーリング材が完全に硬化した後に、ブリード防止用プライマーの「アンチブリーダーS」をシーリング面に先行塗布することにより不具合発生低減を図れます。ただしシーリング材の種類によっては、不具合低減ができない場合もあります。

●緊急時の対応

- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布（ウェス）などで拭き取ってください。

●廃棄

使用済みの塗料缶や塗料が付着したウェスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として産業としてください。（河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。）

●保管

- 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
- 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照ください。

※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。

※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング



神 東 塗 料

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123) 32-0431 FAX(0123) 34-6199
東北 ☎(022) 353-6951 FAX(022) 353-6952
東京 ☎(03) 5690-0544 FAX(03) 5690-0553
静岡 ☎(054) 245-0135 FAX(054) 247-4091

北 陸 ☎(076) 262-1305 FAX(076) 262-1315
名古屋 ☎(052) 612-0293 FAX(052) 612-0318
大阪 ☎(06) 6426-3763 FAX(06) 6429-6268
中国 ☎(082) 264-6822 FAX(082) 264-6821

本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06) 6426-3355 (代) FAX(06) 6429-6188 (代)

四 国 ☎(0897) 65-4550 FAX(0897) 65-4576
九 州 ☎(092) 472-2222 FAX(092) 473-5777

<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承願います。